

# アクセスコントロール回避 に関する被害実態

社団法人コンピュータエンターテインメント協会  
社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会

# インターネット上における著作権侵害行為

多くのゲームソフトメーカー並びにゲーム機器のハードメーカーは、主としてアクセスコントロール技術を採用し、ゲームソフトの無許諾複製を実質的に無効化する対策を行っております。

本技術の著名な例としては、正規パッケージの記録媒体からのみゲームソフトが起動するよう、記録媒体およびゲーム機器に技術的制限手段を施し、無許諾複製物が起動できないようにしております。

しかしながら、この技術的制限手段を回避する「マジコン」や「Mod チップ」等と呼ばれる機器・製品が市場に流通しているため、これが原因となり、「Winny」などのP2P ファイル共有ネットワークや蔵置サーバーなどにゲームソフトのプログラムが著作権者に無許諾で大量にアップロードされています。

この結果、多くのユーザーがこれらプログラムをインターネットを介して入手した上で、「マジコン」や「Mod チップ」等のアクセスコントロール回避機器を介して、無料で遊技しており、ゲームソフトメーカーは、本来売れるべきゲームソフトの販売の機会を逸する、深刻な被害を受けています。

次のページに代表的な被害実態の一例を挙げます。

# 被害実態1-1 (ファイル共有ソフト)

調査日時: 2008年8月10日 23:00~11日 23:00 の24時間

調査対象: ファイル共有ソフト「Winny」ネットワーク

調査実施: (社)コンピュータソフトウェア著作権協会

調査結果: ニンテンドーDSソフトの本数 **185万7,988本**

※Winny ネットワーク上で違法に流通するニンテンドーDSソフトのファイル数は、**27万5,979ファイル**。

1つのファイル上のニンテンドーDSソフトを詰め合わせているものもあるため、ファイル名を目視にて確認し、詰め合わせられているニンテンドーDSソフトの本数を算出。

市場価格に換算した場合 **59億4,556万1,600円**  
(185万7,988本 × 3,200円)

※調査当時のニンテンドーDSソフトの平均小売単価3,200円で計算。

# 被害実態1-2 (ファイル共有ソフト)

調査日時: 2009年8月23日 の24時間

調査対象: ファイル共有ソフト「Share」ネットワーク

調査実施: (社)コンピュータソフトウェア著作権協会

調査結果: ニンテンドーDSソフトの本数 **90万314本**

※Share ネットワーク上で違法に流通するニンテンドーDSソフトのファイル数は、**4万6,541ファイル**。

1つのファイル上のニンテンドーDSソフトを詰め合わせているものもあるため、ファイル名を目視にて確認し、詰め合わせられているニンテンドーDSソフトの本数を算出。

市場価格に換算した場合 **38億7,135万200円**  
(**90万314本 × 4,300円**)

※調査当時のニンテンドーDSソフトの平均小売単価4,300円で計算。

## 被害実態2（違法ダウンロード数）

調査日時：2009年6月

調査対象：海外のダウンロードサイト(10 サイト)

調査実施：任天堂(株)

調査結果：ニンテンドーDSソフトのダウンロード数

2億3,753万3,938回(全世界での延べ数)

市場価格に換算した場合(全世界)：1兆213億9593万3400円(※1)

市場価格に換算した場合(国内)：約2,648億円(※2)

※1 ニンテンドーDSソフトの平均小売単価4,300円で計算。

※2 ニンテンドーDSの販売台数から国内比率を計算。

(任天堂(株)の第69期報告書より抽出)

### 参考

2008年度国内のニンテンドーDSソフト販売額は約1,373億円。

国内販売本数3,194万本に平均小売価格を乗じて計算。

(任天堂(株)の第69期報告書より抽出)

ニンテンドーDS以外も含む本調査の最新状況については第三者に調査を依頼している。